

IBASHO宣言

■居場所は、誰にとっても大切なよりどころ。 IBASHO is essential to life.

居場所とは、誰かに見てもらえている、認められている、尊重されている、つながっている、と本人が感じられる場のこと。

人間は社会的動物で、居場所のない孤独・孤立は、心身の健康を蝕むと言われます。居場所があること、それは尊厳があることです。

■居場所は、人をはぐくみ、元気にし、幸せにする。 IBASHO makes us happy.

子どもは居場所の中で健やかに育ち、大人は居場所の中で疲れを回復します。

一人ひとりが、よりたくさんの居場所を持つことは、その人をより元気に、幸せに、ごきげんにします。

■居場所は、オンラインに拡張していて、まだまだ進化する。 IBASHO expands online and still evolves.

すべての居場所は変化し続けます。

オンラインの居場所はもはや生活の一部となっていて、リアルな居場所と相互に補い合い、一体となっています。

安心・安全を確保しながら、変化を進化と捉え、多様で多彩な居場所のある世の中を実現していくことが必要です。

■居場所は、多様なかたちで多様な人々に開かれている。 IBASHO welcomes diverse people in diverse forms.

人によって求める居場所の形はさまざまで、ひとりの時間を過ごせる時間や空間も、居場所として重要です。

リアル／オンラインの居場所に共通して「気が向いた時に /匿名で寄れる、ゆるやかなつながりのある場」の力を、いま、見直すべきではないでしょうか。

多様でありながらつながれる、共存できる社会。居場所はそうした社会を準備するものです。

■居場所を、広げ、未来につなげていこう。 Let's expand and pass IBASHO to the future.

居場所は、地域の、オンラインの、日本の、世界の、新しい社会基盤となっています。

匿名で参加できるオンラインでは特に、子どもや弱い立場の人々を含め誰もが権利と決定権を尊重され、安心して立ち寄れる安全な居場所であることが重要。大人たち、子ども／若者たちが力を合わせて、平和で、生きやすく、個々が輝き、活躍できる社会を育てていきましょう。